

このほかに、市民一人ひとりの工夫などによって、さまざまな取り組みができます。

- 捨てる商品』はなるべく選はない。
・店頭回収など、環境問題に取り組んでいるお店をなるべく利用する。
・再使用（リユース）できる品物や再生（リサイクル）製品を選ぶ。
——暮らしのなかでは——
・日用品や食材は最後まで使い切る。
・修理や修繕してものを大事にする。
・生ごみはコンポスト容器を用いて、堆肥として利用する（堆肥にできない方は、生ごみの水分を切ってから出す）。
市は、コンポスト容器の購入費を助成しています。
——いらないと思ったら——
・リサイクルショップを利用したり、フリーマーケットに出したり、必要な方へ譲るなど、ごみにしない。
・お店での回収や集団資源回収しているものを確認し、ごみの再資源化に協力する。
・正しく分別し、正しく排出する。

登別市一般廃棄物処理基本計画

基本目標 ~ 循環型社会の構築 ~

基本方針 1

ごみの発生・排出抑制
発生・排出するごみの量をできる限り少なくする。

基本方針 2

ごみの再生利用
排出されたごみのリサイクルを総合的に推進する。

基本方針 3

ごみの適正処理
ごみ処理に伴う環境への負荷をできる限り少なくする。

ごみ減量化目標の設定

施策展開：三者一体の取り組み

市民の役割

排出マナーを守る、生ごみの堆肥化、使い捨て商品の自粛、再生品の積極的使用、集団回収への参加など

事業者の役割

自己処理の徹底、過剰包装の自粛、再生利用物の自主回収、集団回収への参加など

登別市ごみ減量化行動指針

行政の役割

集団回収への支援、市民と事業者への意識啓発・協力要請・情報提供、施設整備など

公表します

登別市の年度別家庭系ごみの排出量

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
燃やせるごみ(ト)	10,889	9,448	9,622	9,627
燃やせないごみ(ト)	6,547	581	786	818
資源ごみ(ト)	184	1,109	1,058	1,035
粗大ごみ(ト)	-	35	42	42
有害ごみ(ト)	-	3	4	2
合計(ト)	17,620	11,176	11,512	11,524
1人・1日当たりのごみ排出量(グラム)	870	556	577	578

クリンクルセンターでのダイオキシン類測定結果 (平成14年度)

測定場所	測定日	測定値	排出規制値
A 炉煙突	7月6日	0.068 ナノグラム	国 1 ナノグラム 市 0.1 ナノグラム
	12月14日	0.074 ナノグラム	
B 炉煙突	6月15日	0.065 ナノグラム	
	11月23日	0.077 ナノグラム	

クリンクルセンターは、国の排出規制値 1 ナノグラム (1 ナノグラムとは、10億分の1グラムのこと) を下回る 0.1 ナノグラムを自主規制値として運転しています。

市民ギャラリーを見学しませんか

クリンクルセンターの市民ギャラリーでは、200種類以上の花木を展示し、みなさんの憩いの場として開放しています。

また、隣接の再生品展示室では家庭で不用となった家具などの再生品がご覧いただけます。

市民ギャラリーは、営利を目的としない催しやイベントに、無料でご利用いただけます。利用を希望する方は、環境資源課にご相談ください。

市民ギャラリーの開館時間
9時30分～17時
休館日 年末年始

土・日曜日、祝日もご利用いただけます。